

## 芦城中学校 学びの道しるべ

令和4年4月19日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果についてのお知らせです。

### 1 全国学力・学習状況調査結果（本校と県・国との正答率の比較）

	石川県	全国
国語	平均並み	上回る
数学	上回る	大きく上回る
理科	平均並み	上回る

### 2 設問から見える成果（◎）と課題（△）

国語
◎自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く問題がよくできていました。普段の授業の中で自分の考えを伝える際には、根拠を示しながら述べたり、書いたりしていることが力になってきています。今後も継続していきます。
△場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈する問題に課題が見られました。この問題の特徴として、複数の資料を読んでから問題に答えることや問題の中にも問われていることが複数あることが挙げられました。また、無答率も高かったです。問題文を一つずつ丁寧に読んでいくことやキーワードには線を引きながら読むことを意識して読む習慣をつけさせていきます。また、普段から複数の資料から読み取ることや複数の条件から自分の考えをまとめる機会を増やしていきます。
数学
◎計算をはじめとする基礎、基本の技能が定着しています。説明する問題においては、形式のある説明も、数学用語を用いて自由に記述する説明も共に正答率が高く、今後も授業内のグループ活動等で、説明する機会を多く設けていきます。
△データの活用、比較の分野で、ヒストグラムの特徴に関する問題に課題が見られました。繰り返し用語を使う機会を設けて定着を図る必要性があります。また、変化の割合を表の中で考察する問題の正答率が低かったです。基本的な技能の習得に留まらず、数学の学習の本質的な部分に触れる機会を増やしていきます。
理科
◎分子のモデルや図を基に、判断をする問題や条件制御の問題、考察に関する問題がよくできていました。日常生活に関係しているもの、イメージのつきやすいものが得意です。日常生活の疑問からイメージしやすいものを提示する授業を意識していきます。
△力の分野や複雑な実験の考察を正しく判断する問題に課題が見られました。1年生の時に学習した内容は復習が必要であり、3年生で学習する内容に関連づけて問題文を正しく読むトレーニングをし、授業の中で問題に対して正しく答える機会を増やしていきます。

学力とは、豊かな人間性、体力、健康とともに、子ども達が生きるために大切な力です。なお、本学力調査は、学力の特定の一部を推し量るものです。

### 3 質問紙調査の結果から

良好なもの ◎生活習慣に関する質問では「朝食を毎日食べている」・「毎日同じ時間に起きている」と答えている生徒の割合が高いです。 ◎「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と答えている生徒の割合が高いです。 ◎「友達と協力するのは楽しい」と思っている生徒の割合が高いです。 ◎「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ」と思っている生徒の割合が高いです。
課題となるもの △学校の授業時間以外に、普段読書をしている生徒の割合が低いです。 △新聞を読んでいる生徒の割合が低いです。 △将来の夢や目標をもっている生徒の割合が低いです。 △地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある生徒の割合が低いです。

### 4 全国学力・学習状況調査、質問紙調査の結果を踏まえた改善策について

#### ○学校での取組

##### 学びづくりとして

- ★授業の中で、機会をとらえながら、根拠をもとに、自分の考えを話したり、書いたりして伝える力を育成していきます。
- ★授業において、まとめ・振り返りの場を充実し、学びの自覚化を図るとともに、新しい課題の発見につなげていきます。
- ★「書く活動」を効果的に取り入れた取組を通して、主体的・対話的で深い学びを追究する生徒の育成をしていきます。
- ★積極的に授業にICT機器を取り入れ、効果的に活用できる力を育成していきます。
- ★朝読書や新聞記事の取組を行うことで、読解力、自己表現力の向上を目指していきます。

##### 家庭学習への取組として

- ★各学年の学習状況に応じて、家庭学習の充実への取組を行っていきます。  
(例)：終礼時に、家庭学習の計画を立てる「あしのはタイム」の取組、週末課題の取組等

##### 集団づくりとして

- ★生徒会や学年リーダー会主体で、学年の枠を超えた縦割り活動の取組を充実させ、他学年とのつながりを深めます。
- ★生徒が達成感や充実感を味わえるよう、学校行事では一人一役の取組を行う等、一人一人が活躍できる場を意図的に設定していきます。
- ★生徒が将来の夢や目標を持ち、地域や社会に積極的に貢献できるよう、特別活動や総合的な学習の時間の取組を通してキャリア教育を充実していきます。

#### ○ご家庭にお願いしたいこと

##### ①サポーターとしての役割

頑張りを褒めたり、話を聞いてあげたりするだけで生徒は安心感や安定感を得ることができます。些細なことでもかまいませんので、お子様を褒め、話を聞いてあげてください。

##### ②ファシリテーターとしての役割

生徒の自主性、主体性を引き出す誘導役となって下さい。中学生といえどもまだ「子ども」ですので判断が未熟で間違いを起こすこともあります。その時は単に「叱る」だけでなく、何がいけなかったのかが分かるよう具体的に言い聞かせ、どうしたらよいか考えられるように話をして下さい。そうすることにより、自分のことや、将来のことを考える主体性が育ち、今すべきことができるようになります。

##### ③ペースメーカーとしての役割

規則正しい生活習慣と学習習慣の形成の支援をお願いします。食事、睡眠、整理整頓等の生活習慣をサポートし、ネットやゲーム等のルールづくりをお願いします。

家庭と学校が連携して 健やかな子どもの育ちを見守りましょう。